

シンポジウム 2

第 1 会場（大ホール）8:40～10:10

東北の外傷診療はどこまで進化したか

座長：工藤 大介（東北大学病院 救急科・高度救命救急センター）
岡部 康之（長岡赤十字病院）

- S2-1 初療室開胸を要した鈍的心損傷の1救命例を通して当地域の外傷診療体制を考える。
青森県立中央病院救命救急センター 石澤 義也
- S2-2 当センターの外傷診療の役割と展望
岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター 菅 重典
- S2-3 秋田県内をカバーする、重症外傷の超急性期マネジメントとシステム
秋田大学医学部附属病院高度救命救急センター 平澤 暢史
- S2-4 八戸の外傷診療はどこまで進化したか
八戸市立市民病院 救命救急センター 吉村 有矢
- S2-5 最重症に備える HybridER 外傷診療
東北大学病院高度救命救急センター
/ 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 藤田 基生
- 特別発言 八戸市立市民病院 今 明秀

シンポジウム 1

第 1 会場（大ホール）10:20～11:50

院外心停止に対する病院前プロトコルはどこまで進化したか

座長：齋藤 兄治（青森県立中央病院 救命救急センター）
高橋 宣明（仙台市消防局）

- S1-1 現場滞在で行う特定行為の開始
～ROSC 率向上を目標に～
秋田市消防本部 大山 拓
- S1-2 自宅等における早期アドレナリン投与の実践と救急隊の意識変化について
大崎地域広域行政事務組合消防本部 工藤 丈和
- S1-3 福島市消防本部におけるアドレナリン投与に関する現状と課題
福島市消防本部福島南消防署 穴戸 慧
- S1-4 早期アドレナリン投与に向けた取り組み～レスポンスタイムに着目して～
弘前地区消防事務組合 三上 大輝
- S1-5 早期アドレナリン投与を目指した活動の方策
盛岡地区広域消防組合消防本部 田中 栄貴
- S1-6 院外心停止のエビデンス
秋田大学医学部附属病院高度救命救急センター 吉田 健二

特別講演

第1会場（大ホール）13:30～14:30

健康危機管理と救急医療の接点

～化学テロ・新興感染症（COVID-19）・地震災害（能登半島地震）を振り返る～

座長：中永土師明（秋田大学大学院救急集中治療医学講座 教授）

SL-01

健康危機管理と救急医療の接点

～化学テロ・新興感染症（COVID-19）・地震災害（能登半島地震）を振り返る～

神奈川県理事（医療危機対策担当）／藤沢市民病院 副院長 阿南 英明

共催：フクダ電子株式会社

特別企画

第1会場（大ホール）14:35～15:35

能登半島地震

座長：島田 二郎（福島県立医科大学附属病院）

坂口 健人（山形大学医学部附属病院 救急科）

SP-1

令和6年能登半島地震における民間救急搬送事業者の役割

株式会社ファーストエマージェンシー 福島支社 門間 純大

SP-2

能登半島地震における DMAT 活動報告～DMAT と消防の医療・消防連携戦略～

村上市消防本部 中島 賢志

SP-3

令和6年能登半島地震での救護班への組織的なこころのケア～出発前後の顔合わせやストレスチェックの成果～

長岡赤十字病院 救命救急センター 大竹 笙子

SP-4

能登半島地震における DMAT と保健師の連携による全戸調査

山形大学医学部附属病院 救急科／山形市立病院済生館 救急科 小林 忠宏

SP-5

自衛隊機 CH-47による域外搬送の経験より～能登半島地震 DMAT 活動～

仙台医療センター 救急科 川副 友

SP-6

高齢者避難における空路・陸路での広域搬送経験

福島県立南会津病院 木村 幹

パネルディスカッション1

第1会場（大ホール）15:40～17:00

多発する風水害にどのように備え対応するべきか

座長：伊関 憲（福島県立医科大学医学部 救急医療学講座）

山平 大介（秋田大学医学部附属病院）

PD1-1

令和5年7月豪雨の検証と流域治水の取組（雄物川下流圏域水災害対策プロジェクトの実行）

秋田市上下水道局総務課 白旗 史人

PD1-2

被災病院の立場からみた秋田豪雨災害 ～病院避難が切迫した中通総合病院で起きていたこと～

社会医療法人明和会 中通総合病院 医療福祉相談室 塩谷 行浩

PD1-3

豪雨災害による医療機関のインフラ被害とその影響

岩手医科大学医学部救急・災害医学講座

／秋田大学大学院医学系研究科救急集中治療医学講座 藤原 弘之

- PD1-4 多発する風水害にどのように備え対応すべきか
宮城県 仙南地域広域行政事務組合消防本部 霜山 治
- PD1-5 宮城県地域災害医療コーディネーターからの令和元年東日本台風災害報告
東北大学病院救急科 / 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 古川 宗
- PD1-6 医療施設の水害対策
～医学・建築工学・土木工学の知見を融合したタイムライン（防災行動計画）の策定～
清水建設株式会社 設計本部 鳥山 亜紀

シンポジウム 3

第2会場（中ホール）8:40～9:40

これからの救急医療を支える看護の視点

座長：設楽 恵子（東北大学病院）
峯田 雅寛（山形県立中央病院）

- S3-1 救急外来における帰宅後の早期療養支援の取り組み
岩手県立宮古病院 救急外来 古舘 勇一
- S3-2 A 病院における高齢者を対象にした救急帰宅支援フローチャート作成の取り組み
仙台市立病院 救命救急センター外来 田中 佳子
- S3-3 不適切な救急外来受診をし、退院支援が困難となった事例
北秋田市民病院 藤田裕太郎
- S3-4 当院における高齢者救急の現状
社会医療法人明和会 中通総合病院 救急総合診療部
/ 社会医療法人明和会 中通総合病院 医療福祉相談室 佐藤 玲希
- S3-5 E S Wによる多問題を抱える自殺企図後患者へのアプローチ
秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター 金子 幸太

パネルディスカッション 4

第2会場（中ホール）9:45～10:45

救急認定看護師が考える救急看護の本質はこれ！

座長：加藤 貴則（秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
尾留川真理（JA 秋田厚生連由利組合総合病院）

- PD4-1 救急領域におけるデータから救急看護の本質を考える
秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 加藤 貴則
- PD4-2 救急外来における多職種との連携の必要性
JA 秋田厚生連 大曲厚生医療センター 救急外来 枝川 毬子
- PD4-3 高齢社会における救急看護の役割～チェックリストを用いた帰宅支援の検討～
大館市立総合病院 救急室 糠塚 拓道
- PD4-4 内科・消化器内科病棟における救急看護認定看護師の活動
JA 秋田厚生連由利組合総合病院 尾留川真理
- PD4-5 「救急外来から考える、高齢者のACPと多職種連携」
社会医療法人明和会 中通総合病院 佐藤 玲希

パネルディスカッション 2		第2会場（中ホール）10:50～11:50
集まれ診療看護師（NP）！自施設の働き方と役割を語ろう！		
座長：熊谷 謙（新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター） 小舘 絵里（青森県立中央病院救命救急センター）		

- PD2-1 診療看護師が発熱外来診療を担当する効果
枳記念病院 看護管理室 小林 誠一
- PD2-2 当院の救急科診療看護師（NP）の役割
東北医科薬科大学病院 中川 恵子
- PD2-3 救命救急センター診療看護師としての活動報告
石巻赤十字病院 救命救急センター 松岡 裕恵
- PD2-4 当院救急部における診療看護師（NP）の活動実態と役割考察
青森県立中央病院救急部 中村 祐太
- PD2-5 当科 NP は cure と care における新たな役割を担う
秋田大学医学部附属病院 NP 室 高度救命救急センター
／ 秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 佐藤 大祐

共催セミナー 2		第2会場（中ホール）14:35～15:35
集中治療後症候群（PICS）と敗血症		
座長：眞瀬 智彦（岩手医科大学医学部 救急・災害・総合医学講座）		

- CS2-01 集中治療後症候群（PICS）と敗血症
和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 井上 茂亮
共催：旭化成ファーマ株式会社

シンポジウム 4		第2会場（中ホール）15:40～17:00
シミュレーションコースを臨床現場に活かす		
座長：遠藤 智之（東北医科薬科大学 救急・災害医療学） 出内 主基（新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター）		

- S4-1 シミュレーション教育における新たな医療教育支援システムの開発
みやぎ県南中核病院 / 東北大学病院高度救命救急センター
／ 東北大学クリニカルスキルスラボ 小林 正和
- S4-2 「秋田市外傷初療セミナー（JPTEC プロバイダーコース）」の開催について
秋田市消防本部 加藤 敏雄
- S4-3 秋田県における PCEC/PSLS コース
秋田市消防本部 / 秋田県立循環器・脳脊髄センター 佐々木靖彦
- S4-4 PSLS コース受講時の工夫
新潟 PSLS 研究会 田辺 博之
- S4-5 「運営の負担は少なく」「現場で活かせる」を目指した ICLS コースの取り組み
秋田大学医学部附属病院 ICU1 藤岡奈緒美
- S4-6 アンケート結果を用いた PEMEC コースの評価における東北ブロックと東北以外のブロックとの比較
東北大学病院 高度救命救急センター
／ 日本臨床救急医学会 PEMEC 企画運営小委員会 佐藤 哲哉

一般演題 1

第3会場 (小ホール A) 8:40~9:35

CPA

座長：浅沼敬一郎 (仙台市立病院)
近藤 顕 (須賀川地方広域消防本部)

- 1-1 当本部での自動心マッサージ器使用形態の変化と今後について
秋田市消防本部 秋田消防署 三浦 亮
- 1-2 自動心臓マッサージ器導入は静脈路確保実施数、成功数に影響を及ぼしたか
横手市消防本部 山田 浩貴
- 1-3 自動心臓マッサージ器の装着のタイミングとその影響について
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 中谷 壮志
- 1-4 自動心マッサージ機使用判断スケール導入による効果と検討
横手市消防本部 佐藤 臣
- 1-5 中高層階で発生した傷病者の救出検証～質の高いCPRを目指して～
村上市消防本部 和田 隆史
- 1-6 狭隘通路移動時における換気継続のための対策
秋田市消防本部 佐々木茉央
- 1-7 早期アドレナリン投与を目的とした活動に向けて
盛岡地区広域消防組合 盛岡南消防署 藤原 純

一般演題 2

第3会場 (小ホール A) 9:40~10:35

各種研究 1

座長：板垣 秀弥 (東北医科薬科大学病院)
浦上 修 (青森地域広域事務組合中央消防署)

- 2-1 血糖測定実施範囲の拡大についての検討
奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部 小野寺優騎
- 2-2 低血糖・くも膜下出血症例に対するチェックシートの有用性について
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐々木光晴
- 2-3 救急救命士によるターニケット処置の実績と課題
秋田県MC協議会 指導救命士会 検証班 今津谷 健
- 2-4 静脈路確保における経験数と成功率の検討
横手市消防本部 伊藤 勝也
- 2-5 急性冠症候群傷病者への救急現場における12誘導心電図判読と課題
由利本荘市消防本部 加藤 康
- 2-6 ACS 疑いがある傷病者に対する救急救命士によるニトログリセリン・アスピリン投与の可能性
新潟市消防局 安達 大
- 2-7 電動ストレッチャー導入による隊員の身体的負担及び救急現場活動の変化について検証
黒川地域行政事務組合消防本部 佐藤 友敏

パネルディスカッション 3		第3会場（小ホール A）10:40～11:50
集まれ病院救急救命士！自施設の働き方と役割を語ろう！		
座長：山内 聡（仙台市立病院） 高橋 伸一（秋田市消防本部）		

- PD3-1 “断らない救急”を目指す新病院開院に向けた病院救急救命士の取り組み
燕労災病院（済生会新潟県中央基幹病院） 志田 和貴
- PD3-2 当院における救急救命士の業務について
石巻赤十字病院 救急課 / 石巻赤十字病院 救命救急センター 亀山 勝
- PD3-3 八戸市立市民病院における病院救急救命士の役割
八戸市立市民病院 救命救急センター 向谷地毅治
- PD3-4 病院内救命士から医学部教員へ
新潟大学医学部災害医療教育センター 中込 悠
- PD3-5 民間養成校から考える病院救命士のキャリアデザイン
東北福祉大学 福田 理絵

ランチョンセミナー 1		第3会場（小ホール A）12:00～12:50
私の12誘導心電図 AMI 鑑別方法～導出18誘導心電図の有用性～		
座長：中永士師明（秋田大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学講座 教授）		

- LS1-01 私の12誘導心電図 AMI 鑑別方法～導出18誘導心電図の有用性～
日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 CCU 特任専修医 新井 陸
共催：日本光電工業株式会社

一般演題 3		第3会場（小ホール A）13:30～14:10
病院救命士		
座長：橋本 克彦（福島県立医科大学 救急・生体侵襲制御学講座 総合南東北病院 救急集中治療科） 中込 悠（新潟大学医学部災害医療教育センター）		

- O3-1 自施設での病院救急救命士の働き、今後の Vision
秋田大学医学部附属病院高度救命救急センター 小林 悠希
- O3-2 救急救命士単独部署！～総合南東北病院の院内救命士の働き方～
総合南東北病院 救急集中治療科 腹子 歩夢
- O3-3 当院における救急救命士の役割と業務についての現状報告
青森県立中央病院 救急部 八幡 教太
- O3-4 病院救急救命士の院内における活動の構築
～外来トリアージの導入～
柊記念病院 菊池 拓也
- O3-5 当院救急救命士が実施した救急救命処置の評価と検証
石巻赤十字病院 救急課 太田 直希

一般演題 4	第3会場（小ホール A）14:10～14:50
その他の症例 1	
座長：比留間孝広（総合南東北病院救急集中治療科） 佐々木英雄（奥州金ヶ崎行政事務組合水沢消防署）	

- 4-1 医療機関外墜落分娩症例をフィードバックした効果
秋田市消防本部 佐藤 泰良
- 4-2 ノルウェー疥癬に罹患した傷病者を搬送した症例
男鹿地区消防一部事務組合 山田 駿介
- 4-3 呼吸不全を伴った意識障害症例
宮城県 仙南地域広域行政事務組合消防本部 大竹 一生
- 4-4 カーテン徴候を伴った脳梗塞の一例
東根市消防本部 武田 達也
- 4-5 高アンモニア血症を伴った小児の痙攣重積発作の一例
新潟市消防局 西消防署 小針出張所 救急隊 堀 力

一般演題 5	第3会場（小ホール A）14:55～15:35
その他の症例 2	
座長：小野寺 誠（福島県立医科大学地域救急医療支援講座） 井筒 琢磨（岩手県立中央病院 救急診療部 糖尿病・内分泌内科）	

- 5-1 好酸球増多が診断の契機となった急性副腎不全の2例
会津中央病院 救命救急センター 梶原 宏太
- 5-2 腓十二指腸動脈瘤破裂に対して TAE 施行後に十二指腸狭窄を来した正中弓状
靱帯圧迫症候群の1例
岩手県立中央病院 救急救命科 赤坂威一郎
- 5-3 当科における SUP（ストレス潰瘍予防）は妥当か？ 潰瘍発生症例から考える。
温知会会津中央病院救急科 小林 辰輔
- 5-4 V-V ECMO のトラブルシューティング：消化器外科専門医としての視点から
秋田赤十字病院 救急科 大村 範幸
- 5-5 口腔内潰瘍からの出血と凝血塊による中枢気道閉塞に対し、VV-ECMO 下で
除去を行い救命した一例
八戸市民病院 救命救急センター 名和 宏樹

パネルディスカッション 5	第3会場（小ホール A）15:40～17:00
日本救急医学会学生・研修医部会（SMAQ）合同企画 救急医療を担う次世代のビジョン	
座長：佐藤 佳澄（秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座） 舘山 七海（日本救急医学会 学生・研修医部会（SMAQ） 北海道・東北ブロック岩手医科大学医学部医学科6年）	

- SMAQ-1 外傷死ゼロへの挑戦 一地域包括的“外傷センター”にむけた取り組み
東北大学病院高度救命救急センター 谷河 篤
- SMAQ-2 救急医から緩和ケア医へ
飯塚病院 連携医療・緩和ケア科 山端 裕貴

SMAQ-3 救急医のサブスペシャリティ、奨学金義務履行との両立について

岩手医科大学附属病院 救急・災害医学講座 森野 豪太

SMAQ-4 総合的な診療に興味のある医学生や研修医にとって、救急科という選択肢はアリである

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 川井 洋輔

SMAQ-5 救急医としてのミッション・ビジョン・バリューの描き方

東北大学大学院医学系研究科救急医学分野 / 東北大学クリニカルスキルスラボ 横川 裕大

SMAQ-6 当院の女性救急医のこれまでとこれから

八戸市立市民病院 救命救急センター 小野 文子

SMAQ-7 離島での救急医療で学んだこと ～ジェネラルスペシャリストな救急医を目指して～

八戸市立市民病院 救命救急センター / 沖縄県立八重山病院 救急科 佐々木雄作

SMAQ-8 救急、総合診療の架け橋を目指して

坂総合病院 総合診療科 / 坂総合病院 救急科 児玉 貴之

研修医・学生セッション1

第4会場 (小ホールB) 8:40～9:40

座長：高橋 学 (岩手医科大学 救急・災害医学講座)
飯野 竜彦 (新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター)

R1-1 診断に苦慮した破傷風

総合南東北病院 救急集中治療科 西尾 樹奈

R1-2 激的な経過をたどり、救命できなかった壊死性膀胱炎の一例

一般社団法人温知会 会津中央病院 救急科 関 祐樹

R1-3 頭部外傷により生じた画像的所見を伴わない両側声帯麻痺の1例

東北医科薬科大学医学部医学科 / 東北医科薬科大学病院救急科 山口 琢矢

R1-4 肺小細胞癌によってひきおこされた NMDAR 脳炎の症例

東北医科薬科大学 救急科 平野 桃香

R1-5 侵襲性肺炎球菌感染症による電撃性紫斑病患者の救命救急症例

岩手医科大学医学部6年 岩手医科大学救急・災害・総合医学講座 浦風 孝雅

R1-6 フルニエ壊疽に対し iSAP の併用が奏功した救命症例

岩手医科大学 医学部 渡邊 莉子

R1-7 TAVI 後の感染性心内膜炎により人工関節全置換術後の化膿性関節炎と多発脳梗塞をきたした1例

八戸市立市民病院 救命救急センター 立川 諒太

研修医・学生セッション2

第4会場 (小ホールB) 9:45～10:40

座長：本多 忠幸 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)
中塚 峻 (山形県立中央病院 救急科)

R2-1 ENPD が奏功した大量心嚢液貯留の一例

会津中央病院 救命救急センター 曾根崎敬介

R2-2 比較的軽微な受傷機転により胃断裂を来した1例

福島県立医科大学 会津医療センター / 温知会 会津中央病院 救命救急センター 豊福 智美

- R2-3 モップによる肛門杓創で直腸損傷・肝損傷をきたした1例
会津中央病院 救急科 阿部 信祐
- R2-4 瞳孔不同を呈した急性ブロム中毒の一例
東北医科薬科大学医学部医学科 / 東北医科薬科大学病院救急科 中山 咲希
- R2-5 若年者の侵襲性重症 ARDS に対し ECMO 下で SDC を施行し救命した症例
岩手医科大学 救急・災害医学講座 岩手県高度救命救急センター 三宅 涼太
- R2-6 心肺不全のきたした COVID-19患者に VAV-ECMO を導入した一例
東北医科薬科大学 本吉 勇登
- R2-7 当院における重症熱傷に対するネキソブリッド®を用いた薬剤性デブリドマンの経験
岩手医科大学医学部医学科 / 岩手医科大学 救急・災害医学講座 田北 沙和

共催セミナー 1	第4会場 (小ホール B) 10:50~11:50
aHUS (補体介在性 TMA) の診断と治療	
座長：大村 範幸 (秋田赤十字病院 救急科)	

- CS1-01 救急医療における非典型溶血性尿毒症症候群 aHUS の診療
東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 助教 池田洋一郎
- CS1-02 その DIC、血栓性微小血管障害症 (TMA) かもしれません
秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄
共催：アレクシオンファーマ合同会社

ランチョンセミナー 2	第4会場 (小ホール B) 12:00~12:50
岩手医科大学高度救命救急センターにおける敗血症診断の工夫	
座長：遠藤 智之 (東北医科薬科大学 医学部 救急・災害医療学教室)	

- LS-02 岩手医科大学高度救命救急センターにおける敗血症診断の工夫
岩手医科大学 救急・災害医学講座 高橋 学
共催：一般社団法人日本血液製剤機構

一般演題 6	第4会場 (小ホール B) 13:30~14:10
ショック・心疾患	
座長：横田 貴志 (弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座) 鈴木 悠也 (秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター)	

- O6-1 新型コロナ陽性の傷病者がショック、低血糖を併発した症例
置賜広域行政事務組合消防本部 南陽消防署 竹田 徳彦
- O6-2 ジソピラミドによる QT 延長から Torsades de Pointes (TdP) を来した心不全症例
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター 横田 貴志
- O6-3 本人通報で救急隊現着時 C P A だった症例
西村山広域行政事務組合 消防本部 森 達也
- O6-4 クッシング潰瘍による吐血を主訴に搬送され、たこつぼ型心筋症を併発したくも膜下出血の1例
秋田大学医学部附属病院 救急・集中治療学講座 前野 恭平

○6-5 心筋梗塞とくも膜下出血を同時発症したアナフィラキシーの1例

仙台市立病院 青木 詩織

一般演題 7

第4会場（小ホール B）14:10～14:50

救急医療体制・災害

座長：小林 辰輔（温知会会津中央病院）
横沢 路子（岩手県立中央病院救急医療科及び脳神経外科）

○7-1 市立秋田総合病院における救急搬送の実態

市立秋田総合病院 救急外来 信太 大介

○7-2 当院における精神科救急の現状

岩手県立中央病院救命救急センター 須原 誠

○7-3 水害で孤立を経験した高度救命救急センター看護師が考える平時からの備え

秋田大学付属病院 高度救命救急センター 船木由香里

○7-4 機能維持、強化に向けた部署の CSCA 確立および危機管理に活用できる BCP の作成

秋田大学医学部附属病院 集中治療部 藤田 美優

○7-5 多機関連携による災害時多目的船を使用した傷病者搬送訓練

青森県立中央病院 救急部 佐藤 裕太

一般演題 8

第4会場（小ホール B）14:55～15:45

救急看護・その他

座長：工藤 光生（秋田大学医学部附属病院 集中治療部 2）
佐藤 博昭（秋田大学医学部附属病院 看護部 集中治療部 1）

○8-1 至近距離より発射された猟銃による右大腿銃創患者との関わり

公立置賜総合病院 須貝 太紀

○8-2 魚沼基幹病院の脳死下臓器提供者の家族へのかかわり

魚沼基幹病院 救命救急・外傷センター 田村麻衣子

○8-3 小児看護技術 OJT 導入による自己効力感と不安への介入

公益財団法人 星総合病院 救急病棟 秋山 美樹

○8-4 めまいを主訴に救急搬送となった急性大動脈解離の症例

公立置賜総合病院 救命救急センター外来 橋本 翼

○8-5 初期の情報収集と共有が早期診断に結びついた症例

公立置賜総合病院 救命救急センター外来 高橋 樹生

○8-6 看護師発案で策定した MTP 運用までの取り組み

山形県立中央病院 看護部 大石 信乃

○8-7 コロナ禍を乗り越え4年ぶりに開催した八戸 BLSO

八戸市立市民病院 周産期センター 高田 美香

共催セミナー 3

第4会場（小ホール B）15:50～16:50

救急医療で期待されるオンデキサの役割

座長：奥山 学（秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座）

CS3-01 救急医療で期待されるオンデキサの役割

東京医科大学八王子医療センター 救命救急センター長 弦切 純也

共催：アストラゼネカ株式会社

一般演題 9

第5会場（文化創造館）9:30～10:10

救急医療体制

座長：野田頭達也（八戸市立市民病院）

川井 洋輔（新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター）

O9-1 救急要請時の体制づくり

能代山本広域市町村圏組合消防本部 菅原 智樹

O9-2 盛岡消防本部管内における緊急性が低い傷病者の実態について

盛岡地区広域消防組合 高橋 謙

O9-3 仙台市の救急システムの改善に向けて（続報）

仙台市立病院 救急科 山内 聡

O9-4 12誘導心電図伝送システム導入による Door-in door-out (DIDO) 時間短縮の効果

北秋田市民病院 循環器内科 佐藤 誠

O9-5 山形救急懇話会26年の歩み

山形県立中央病院 救急科 武田健一郎

一般演題10

第5会場（文化創造館）10:15～10:55

救急医療体制・ドクターヘリ

座長：佐々木雄作（八戸市立市民病院 救命救急センター）

田中 勤（新潟市消防局救急課）

O10-1 洋上風力発電施設での救急救助事案における対策について

能代山本広域市町村圏組合消防本部 鎌田 良平

O10-2 大仙市ドクターカー活動報告・ワークステーション型ドクターカーのあり方

秋田大学医学部附属病院 救急・集中治療学講座 前野 恭平

O10-3 覚知要請に至らなかったドクターヘリ事案の検証

男鹿地区消防一部事務組合消防本部 船木 一道

O10-4 ドクターヘリ事案において救急隊による病院選定が早期病院到着へもたらす効果

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 出内 主基

O10-5 山岳事案の取り組みについて

西村山広域行政事務組合消防本部 岸 大輔

一般演題11	第5会場（文化創造館）11:00～11:50
各種研究・その他	
座長：小林 忠宏（山形大学医学部附属病院 救急科） 鈴木慎太郎（上山市消防本部）	

- 11-1 バイスタンダーCPRの心理的障壁に関する意識調査について
秋田市消防本部 秋田消防署 伊藤 愛莉
- 11-2 救急車適正利用の普及啓発について
能代山本広域市町村圏組合消防本部 佐藤 照明
- 11-3 救急隊員による緊急度判定の精度に関する課題について
由利本荘市消防本部 鈴木 祐介
- 11-4 高齢化率上昇と救急要請
一関市消防本部 小岩 啓人
- 11-5 当消防本部におけるクマ外傷救急の検討
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐々木光晴
- 11-6 長岡市における自損行為の傾向と課題について
長岡市消防本部 角山 竜也

ランチョンセミナー3	第5会場（文化創造館）12:00～12:50
いまこそ、病院前心肺蘇生を変えるとき～病院前ROSCを目指す最高のPDCAサイクル～ 座長：田邊 晴山（財団法人救急振興財団救急救命東京研修所）	

- LS3-01 いまこそ、病院前心肺蘇生を変えるとき～病院前ROSCを目指す最高のPDCAサイクル～
済生会宇都宮病院 栃木県救命救急センター 藤田 健亮
共催：旭化成ゾールメディカル株式会社

一般演題12	第5会場（文化創造館）13:30～14:10
外傷1	
座長：川副 友（仙台医療センター） 奈良岡征都（弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター）	

- 12-1 気管挿管管理後に一過性舌下神経麻痺を生じた1例
会津中央病院 救急科 山村 英治
- 12-2 非開放骨折を疑い救急搬送するも開放骨折と診断された一例
由利本荘市消防本部 佐藤 迅
- 12-3 頸椎損傷による上縦郭の咽頭後間隙血種により気管部気道狭窄を呈した症例
仙台医療センター 救急科 小谷 蒔生
- 12-4 気管膜様部損傷に対し気管切開部から縫合した1例
岩手医科大学附属病院 救急科 森野 豪太
- 12-5 プロレスラーの反復外力による頸椎形成性変化について考察する
岩手県立中央病院 救急医療科 横沢 路子

一般演題13

第5会場（文化創造館）14:10～14:50

外傷2

座長：名和 宏樹（八戸市立市民病院）
藤井 佳孝（秋田市消防本部）

- 13-1 市街地で多数の傷者が発生したクマ外傷事案を経験して
秋田市消防本部秋田消防署新屋分署 佐々木克敏
- 13-2 化学損傷に対する救急隊のアプローチ
新潟県 燕・弥彦総合事務組合消防本部 深海 翼
- 13-3 降雪期に発生した小児の穿通（貫通）性異物症例
置賜広域行政事務組合消防本部 佐藤 紀孝
- 13-4 耕運機の回転部分に両下腿が巻き込まれた傷病者にターケット処置を実施した症例
にかほ市消防本部にかほ市消防署 池田 享平
- 13-5 転倒による頸髄損傷から心肺停止に至ったと考えられる1例
秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 吉田 健二

一般演題14

第5会場（文化創造館）14:55～15:35

中毒

座長：山田 尚弘（山形県立中央病院 救急科）
菅原 勇一（秋田市消防本部）

- 14-1 予防的気管挿管と血液浄化療法にて救命に至ったグルホシネート中毒の1例
秋田赤十字病院 臨床研修センター 森 健太郎
- 14-2 雰囲気ガス発生装置に起因する一酸化炭素中毒の1例
新潟市消防局 松永 亮
- 14-3 若年層による薬物過剰摂取の現状について
盛岡地区広域消防組合盛岡南消防署仙北出張所 田中 悠
- 14-4 原因不明の症状が一酸化炭素（CO）中毒であった症例
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 八戸東消防署 柳沢 駿仁
- 14-5 亜急性の経過で発症したドクササコ中毒の2例
山形大学医学部附属病院 救急科 富田 源

一般演題15

第5会場（文化創造館）15:35～16:15

教育・研修1

座長：高橋 一則（山形県立新庄病院 救急科）
石塚 文則（秋田市消防本部）

- 15-1 救急医学臨床実習におけるAI活用方法の模索
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター 奈良岡征都
- 15-2 当院におけるRapid Response System シミュレーションと看護部RRSチーム会の取り組み
秋田赤十字病院 救命救急センター 大山由紀子
- 15-3 E CMO導入時のシミュレーション研修による看護師の意識変化
岩手県立大船渡病院 救命救急センター病棟看護師 高橋 正俊

○15-4 課題を克服するシミュレーション教育の実施について

仙台市消防局 渡辺 魁

○15-5 トリアージ訓練ツールの開発について

仙台市消防局 大勝 孝貴

一般演題16

第5会場（文化創造館）16:15～17:00

教育・研修2

座長：高田 壮潔（山形市立病院済生館 救急科）
梶原 宏太（会津中央病院救命救急センター）

○16-1 小学校6年生を対象とした応急手当講習会定着化の成果と今後の展望

由利本荘市消防本部 佐藤 大輝

○16-2 高度救命救急センターにおける IVR 教育の取り組み

秋田大学医学部附属病院 川村 香草

○16-3 秋田市における在宅医療・介護現場と救急医療に関する多職種でのセミナー開催の取り組みについて

秋田市消防本部 奥山和貴子

○16-4 ドクターカー看護師育成に救急車同乗研修を導入したことによる効果

秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 加藤 貴則

○16-5 周産期救急に備える訓練の検討

一関市消防本部 佐藤 凌

○16-6 「あそんでまなぼう！こども応急手当教室」の開催について

秋田市消防本部 普及啓発ワーキンググループ 木内 絵美

救急エコーセミナー

ホワイエ 13:00～16:00

秋田大学院医学系研究科 医学専攻 総合診療・検査診断学講座 准教授 守時 由起

主催：レールダルメディカルジャパン株式会社
あきた医師総合支援センター
秋田大学救急集中治療医学講座